

基本目標1 働きやすいまちをつくる

指 標	現状値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	当初目標値 (R1)	新目標値 (R3)
市内従業者数	50,909人	—	50,018人	—	—	—*	50,909人	50,018人

*この指標の測定には経済センサスの結果を利用していますが、R1年度に実施された基礎調査の結果がまだ発表されていません。なお、次回の活動調査はR3年度に実施されます。

○目標値を設定した理由: 戦略策定時はH26の値を維持することとしていましたが、H28の結果は下回ってしまいました。期間延長の2年間で個別事業の着実な推進を図り、H28の数値を維持することとしました。

基本施策 重要業績評価指標(KPI)	現状値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	当初目標値 (R1)	新目標値 (R3)
基本施策: しごとの場を創る KPI: 市内事業所数	4,986事業所	—	4,713事業所	—	—	—*	4,986事業所	4,713事業所

*この指標の測定には経済センサスの結果を利用していますが、R1年度に実施された基礎調査の結果がまだ発表されていません。なお、次回の活動調査はR3年度に実施されます。

○目標値を設定した理由: 戦略策定時はH26の値を維持することとしていましたが、H28の結果は下回ってしまいました。期間延長の2年間で個別事業の着実な推進を図り、H28の数値を維持することとしました。

基本施策 重要業績評価指標(KPI)	現状値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	当初目標値 (R1)	新目標値 (R3)
基本施策: しごと探しを支援する KPI: 支援による創業者数	—	年間8件	年間20件(うち 創業支援奨励 金対象15件)	年間24件(うち 創業支援奨励 金対象17件)	年間23件(うち 創業支援奨励 金対象16件)	—	年間15件	年間25件

○目標値を設定した理由: 実績値の推移をもとに設定しました。

基本施策 重要業績評価指標(KPI)	現状値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	当初目標値 (R1)	新目標値 (R3)
基本施策: 地域産業を振興する KPI: 商店街空き店舗数	25店舗	17店舗	12店舗	7店舗	8店舗	—	16店舗	0店舗

○目標値を設定した理由: 実績値の推移をもとに設定しました。

基本目標2 ずっと住みたいまちをつくる

指 標	現状値(H26)	H27末	H28末	H29末	H30末	R1	当初目標値(R1)	新目標値(R3)
定住意向*	77%	- (参考:市政意向調査79.4%)	- (参考:市政意向調査78.3%)	- (参考:市政意向調査82.8%)	- (参考:市政意向調査74.4%)	78%	80%	80%

* 市民意識調査の「これからも住みたい」、「当分住んでいたい」の合算)

○目標値を設定した理由: R1の実績値から総合戦略策定時の目標値を維持することとしました。

基本施策 重要業績評価指標(KPI)	現状値(H26)	H27末	H28末	H29末	H30末	R1	当初目標値(R1)	新目標値(R3)
基本施策:若者の定住を推進する KPI:20歳から29歳までの社会移動数	△321人	△350人	△358人	△355人	△207人	△308人	△160人	△140人

○目標値を設定した理由:実績値の推移をもとに設定しました。⇒最良値だったH30÷1.5で計算

基本施策 重要業績評価指標(KPI)	現状値(H26)	H27末	H28末	H29末	H30末	R1	当初目標値(R1)	新目標値(R3)
基本施策:親子の同居・近居を促進する KPI:転入支援件数	-	-	-	-	-	-	年間60件	年間10件

○目標値を設定した理由: R1年度に開始した親子の同居・近居を促進する「多世代居住支援事業」に係るR2年度の当初予算(最大で新築住宅購入補助6件、中古住宅購入補助3件、増改築補助2件)をもとに設定しました。

新	基本施策 重要業績評価指標(KPI)	現状値(H26) (参考)	H27末	H28末	H29末	H30末	R1	当初目標値(R1)	新目標値(R3)
	基本施策:子育て世代の移住を促進する KPI:30歳から49歳までの社会移動数	73人 (参考)	△42人	△50人	△59人	47人	△24人	/	70人

○KPIを設定し直した理由:従来は30代の社会移動数をKPIとしていましたが、晩婚化の傾向に鑑みると、ターゲットとする「子育て世代」は40代まで含めるべきと判断したものです。

○目標値を設定した理由:年度間の値にはばらつきがみられますが、期間延長の2年間で個別事業の着実な推進を図り、現状値(H26)に近い数値を目標とすることとしました。⇒最良値だったH30×1.5で計算

参 考	現・重要業績評価指標(KPI)	現状値(H26)	H27末	H28末	H29末	H30末	R1	当初目標値(R1)
	30歳から39歳までの社会移動数	32人	△78人	△45人	△61人	△41人	-	R1年に100人

基本目標3 子どもの育ちを支える

指 標	現状値(H26)	H27末	H28末	H29末	H30末	R1	当初目標値 (R1)	新目標値 (R3)
合計特殊出生率	1.18	1.32	1.19	1.20	1.17	—	1.18	1.18

○目標値を設定した理由:実績値の推移をもとに、目標値を維持することとしました。

基本施策 重要業績評価指標(KPI)	現状値(H26)	H27末	H28末	H29末	H30末	R1	当初目標値 (R1)	新目標値 (R3)
基本施策:出会いや結婚の希望をかなえる KPI:婚姻届出数	596件	585件	526件	530件	486件	499件	596件	499件

○目標値を設定した理由:実績値の推移は減少傾向にありますが、期間延長の2年間で個別事業の着実な推進を図り、R1の数値を維持することとしました。

新 基本施策 重要業績評価指標(KPI)	現状値(H26) (参考)	H27末	H28末	H29末	H30末	R1	当初目標値 (R1)	新目標値 (R3)
基本施策:子育てをサポートする KPI:保育所など子ども・子育て支援のための施設や体制の満足度	0.04 (参考)	- (参考:市政意向調査-0.053)	- (参考:市政意向調査0.083)	- (参考:市政意向調査-0.048)	- (参考:市政意向調査-0.067)	0.046		0.046

○KPIを設定し直した理由:多子世帯の世帯数と子育てのサポート体制との相関が薄いと考え、新たな判断基準を市民意識調査の項目の中から選定しました。

○目標値を設定した理由:R1の値は前年、前々年の市政意向調査の参考値からかなりの上昇が見られ、現状値(H26)と比しても上昇していることに鑑み、その値を維持することとしました。

参 考	現・重要業績評価指標(KPI)	現状値(H26)	H27末	H28末	H29末	H30末	R1	当初目標値 (R1)
	多子世帯数(過去5年間の平均減少率)	2.28%	1.91%	2.02%	1.83%	0.92%	—	2.0%以内

基本施策 重要業績評価指標(KPI)	現状値(H26)	H27末	H28末	H29末	H30末	R1	当初目標値 (R1)	新目標値 (R3)
基本施策:子どもの生きる力を育む KPI:学校評価による教育体制及び教育環境についての充実度	80%	80%	80%	94.5%	93.4%	—	90%	93.4%

○目標値を設定した理由:当初の目標値は達成しているため、H30年度の値の維持としました。

基本施策 重要業績評価指標 (KPI)	現状値 (H26)	H27末	H28末	H29末	H30末	R1	当初目標値 (R1)	新目標値 (R3)
基本施策: 子どもによりまちづくりを推進する KPI: 子どもたちの意見を反映した事業数	—	—	—	1件	0件	—	年間10件	年間2件

○目標値を設定した理由: 「いるま子ども会議」により子どもたちの意見を毎年聞いていますが、事業に反映したものはここまで1件と少ない状況です。いるま子ども会議だけではなく市の他の事業からも意見を募ることで子どもたちの意見を反映した事業数を年間2件と設定したものです。

基本目標4 まちの魅力を活かす

指 標	現状値 (H26)	H27末	H28末	H29末	H30末	R1	当初目標値 (R1)	新目標値 (R3)
入間市に対する誇りや愛着を感じる割合*	41%	—	—	—	—	41%	50%	45%

* 市民意識調査の「非常に感じる」、「ある程度感じる」の合算。

○目標値を設定した理由: 当初50%を目標にしていたが、R1年度の市民意識調査の結果はH26年度の値から横ばいでした。期間延長の2年間で個別事業の着実な推進を図り、数値45%まで引き上げることとしました。

新	基本施策 重要業績評価指標 (KPI)	現状値 (H26) (参考)	H27末	H28末	H29末	H30末	R1	当初目標値 (R1)	新目標値 (R3)
	基本施策: 安全で快適な住環境の形成 KPI: 日常生活の便利さの市民満足度*	0.293 (参考)	— (参考: 市政意向調査0.149)	— (参考: 市政意向調査0.302)	— (参考: 市政意向調査0.325)	— (参考: 市政意向調査0.183)	0.3045	/	0.35

○KPIを設定し直した理由: 現行では市民意識調査における「買い物・金融機関など日常生活の便利さ」1項目の市民満足度をもって指標としていますが、複数項目の平均値の方がより実態に即したものになると判断しました。「上水道による水の安定供給」、「鉄道利用の便と路線網」、「バス利用の便と路線網」、「信号機・ガードレールなどの交通安全施設」、「地震や風水害などの防災対策や体制」、「防犯灯などの防犯施設や体制」、「消防・救急施設や体制」、「市民会館などの文化施設や文化活動内容」、「自治会等のコミュニティ活動への支援」、「買い物・金融機関など日常生活の便利さ」の10項目の満足度の平均をとっています。

○目標値を設定した理由: R1の実績値に+0.05を加え、小数点以下第3位を切り上げました。

参 考	現・重要業績評価指標 (KPI)	現状値 (H26)	H27末	H28末	H29末	H30末	R1	当初目標値 (R1)
	KPI: 日常生活の便利さの市民満足度*	0.424	— (参考: 市政意向調査0.285)	— (参考: 市政意向調査0.396)	— (参考: 市政意向調査0.500)	— (参考: 市政意向調査0.244)	0.404	0.474

* 市民意識調査における「買い物・金融機関など日常生活の便利さ」の満足度の加重平均。

基本施策 重要業績評価指標 (KPI)	現状値 (H26)	H27末	H28末	H29末	H30末	R1	当初目標値 (R1)	新目標値 (R3)
基本施策: シティセールスの推進 KPI: 観光入込客数	7,237,276人	7,247,687人	7,316,532人	7,204,406人	7,353,855人	—	7,250,000人	7,353,855人

○目標値を設定した理由: 当初の目標値は達成しているため、H30年度の値の維持としました。

基本施策 重要業績評価指標 (KPI)	現状値 (H26)	H27末	H28末	H29末	H30末	R1	当初目標値 (R1)	新目標値 (R3)
基本施策: 広域エリアでの魅力アップ KPI: まち・ひと・しごと創生総合戦略における他 自治体との連携事業数	—	—	—	—	2件	0件	2件	年1件

○目標値を設定した理由: 期間内での目標は達成しました。延長期間が2年であることを踏まえ年1件を設定したものです。
なおKPIの名称中の「他市町村」を「他自治体」に変更しています。東京23区を文面上排除しないようにするためです。